

平成18年度における運用状況

○ 平成18年度(平成18年4月～平成19年3月)の運用環境

平成18年度の国内経済は、戦後最長と言われる景気拡大が続き、これまでの緩和的な金融政策が修正される局面となりました。平成18年3月に行われた量的緩和解除に続き、7月にはゼロ金利解除が行われ、平成19年2月には政策金利が0.5%にまで引き上げられました。

一方、米国では住宅部門の鈍化が個人消費に波及したことから、景気は減速局面入りしました。米国の金融政策は年度をとおして横ばい(政策金利は5.25%)で推移しました。欧州では経済の好調が持続しており、年度内に2度の利上げが行われた結果、政策金利が3.75%にまで上昇しました。

このような環境の下、国内債券市場では、日本銀行による政策金利の引き上げを受けて短期金利が上昇に転じたのに対し、利上げのスピードが金融市場の想定した範囲内であったことから、長期金利は横ばいで推移しました。国内株式市場については、第1四半期に企業の慎重な業績見通しから株価が下落し、上半期中は底ばいの展開となりましたが、年度後半にかけて、好調な企業業績が確認されるにつれ持ち直し、プラスの領域に転じました。

平成18年度の総合収益を牽引したのは外国株式市場及び外国債券市場でした。米国で金融緩和への期待が高まるにつれ、米国を中心として欧州・アジアの株式市場が堅調となったことに加え、為替市場で円安傾向が続いたこともあり、外国株式市場は年間で17%台の収益を示現しました。また、海外では長期金利が低下傾向にあり、更に為替、特に対ユーロでの円安が収益に大きく寄与した結果、外国債券も10%台のプラスとなりました。

(注) 資産毎の詳細な推移を4ページ目に掲載しておりますので、ご参照下さい。

○ 平成18年度(平成18年4月1日～平成19年3月31日)のポートフォリオ別の運用状況(決算整理前)

1 被保険者ポートフォリオ

平成18年度における被保険者及び待期者に係る資産の運用状況は、次表のとおり、平成18年度末の時価総額は1,003億45百万円となり、平成18年度の総合収益は+29億23百万円となりました。また、修正総合利回りは+3.27%となりました。

(単位:百万円、%)

資 産	平成17年度末 時価総額 ①	平成18年度保険料・ 国庫補助投下額②	計 ③(①+②)	平成18年度末 時価総額 ④	時価総額 構成割合	平成18年度総合収益 ④-③	(参考) 修正総合 利 回 り
国内債券	57,192	13,870	71,061	72,170	71.9	1,109	1.75
国内株式	14,581	294	14,875	15,014	15.0	138	0.94
外国債券	2,510	870	3,380	3,694	3.7	314	10.62
外国株式	8,219	-324	7,895	9,310	9.3	1,415	17.36
短期資産	(注)1参照 -468	679	211	157	0.2	-53	-21.84
合 計	82,034	15,388	97,422	100,345	100.0	2,923	3.27

- (注) 1. 「平成17年度末時価総額①」の短期資産にあるマイナス表示は、平成17年度決算に基づき、被保険者危険準備金ポートフォリオへの繰入を行ったためです。
 2. 「平成18年度保険料・国庫補助投下額②」では、受給権者ポートフォリオ等への繰入額が除かれています。
 3. 信託報酬、有価証券の保管手数料及び外貨流動性預金に係る為替評価損益等は、短期資産で整理しています。
 4. 単位未満を四捨五入しているため、合計が合わない場合があります(以下同じ)。

2 被保険者危険準備金ポートフォリオ

平成18年度における被保険者及び期待者に係る付利準備金及び調整準備金の運用状況は、次表のとおりとなっています。

(単位:千円、%)

区 分	資 産	平成17年度末 時価総額 ①	平成18年度繰入額 ②	計 ③(①+②)	平成18年度末 時価総額 ④	平成18年度総合収益 ④-③	(参考) 修正総合 利 回 り
付利準備金	短期資産	678,214	175	678,388	680,250	1,862	0.29
調整準備金	短期資産	338,018	-1,301	336,717	337,638	921	0.29
合 計		1,016,231	-1,126	1,015,105	1,017,888	2,783	0.29

(注)「平成18年度繰入額②」では、被保険者ポートフォリオからの受入額が含まれ、受給権者危険準備金ポートフォリオへの繰入額が除かれています。

3 受給権者ポートフォリオ

平成18年度における受給権者に係る資産の運用状況は、次表のとおりとなっています。

(単位:千円、%)

資 産	平成17年度末 時価総額 ①	平成18年度繰入額 ②	計 ③(①+②)	平成18年度末 時価総額 ④	平成18年度総合収益 ④-③	(参考) 修正総合 利 回 り
国内債券	57,427	106,905	164,332	167,255	2,923	3.06
短期資産	2,137	8,110	10,247	10,252	5	0.13
合 計	59,564	115,015	174,579	177,507	2,928	2.94

(注)「平成18年度繰入額②」では、被保険者ポートフォリオからの受入額が含まれています。

4 受給権者危険準備金ポートフォリオ

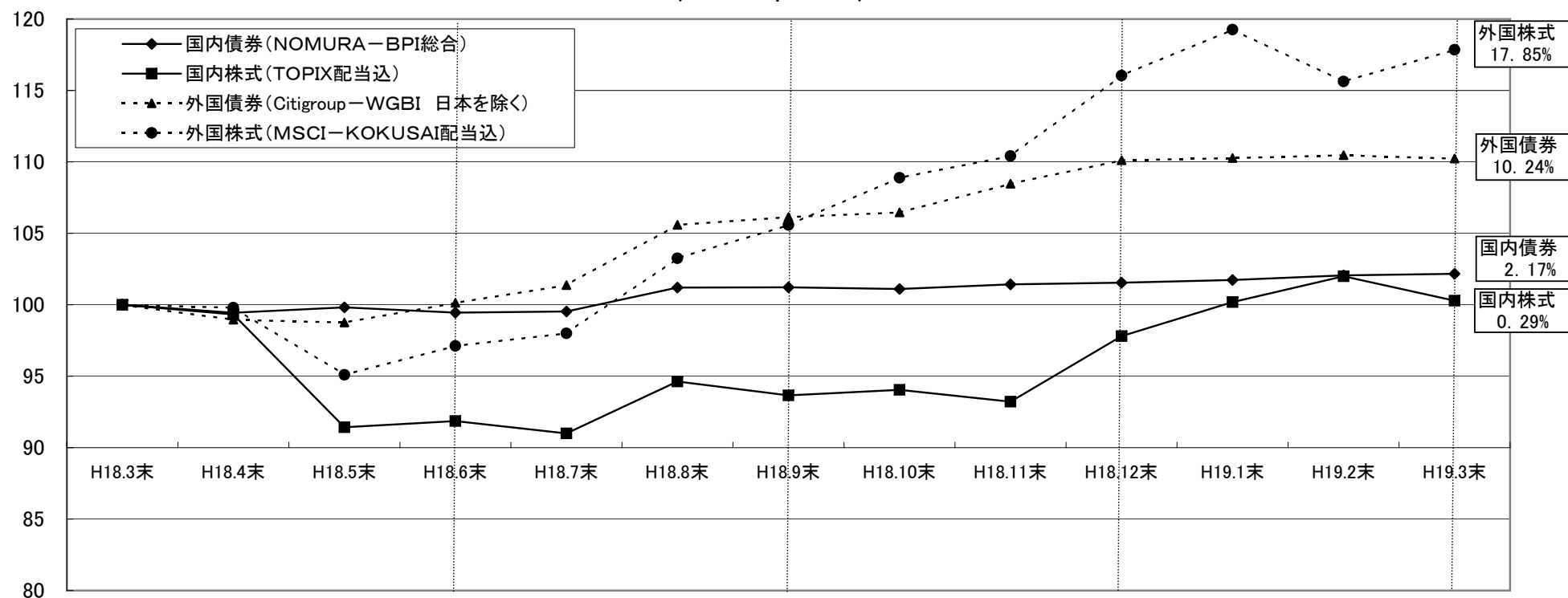
平成18年度における受給権者に係る調整準備金の運用状況は、次表のとおりとなっています。

(単位:千円、%)

区 分	資 産	平成17年度末 時価総額 ①	平成18年度繰入額 ②	計 ③(①+②)	平成18年度末 時価総額 ④	平成18年度総合収益 ④-③	(参考) 修正総合 利 回 り
調整準備金	短期資産	46,755	33,426	80,181	80,320	139	0.22

(注)「平成18年度繰入額②」では、被保険者ポートフォリオ等からの受入額が含まれています。

ベンチマーク・インデックスの推移 (H18.3末=100)



○運用環境

	平成18年3月末	平成18年6月末	平成18年9月末	平成18年12月末	平成19年3月末
国内債券(新発10年国債利回り)	1.764 %	1.913 %	1.666 %	1.674 %	1.649 %
(NOMURA-BPI総合)	295.479 ポイント	293.861 ポイント	299.101 ポイント	300.044 ポイント	301.889 ポイント
国内株式(日経225)	17,059.66 円	15,505.18 円	16,127.58 円	17,225.83 円	17,287.65 円
(TOPIX配当込)	2,009.57 ポイント	1,846.09 ポイント	1,882.18 ポイント	1,965.45 ポイント	2,015.42 ポイント
外国債券(米国10年国債利回り)	4.853 %	5.145 %	4.632 %	4.702 %	4.645 %
(Citigroup-WGBI日本を除く)	305.09 ポイント	305.50 ポイント	323.83 ポイント	335.95 ポイント	336.32 ポイント
外国株式(NYダウ)	11,109.32 ドル	11,150.22 ドル	11,679.07 ドル	12,463.15 ドル	12,354.35 ドル
(MSCI-KOKUSAI配当込)	1,447.614 ポイント	1,405.973 ポイント	1,528.451 ポイント	1,679.867 ポイント	1,706.059 ポイント
為替レート(対ドル)	117.99 円	114.32 円	118.07 円	119.16 円	118.08 円
(対ユーロ)	142.78 円	146.17 円	149.56 円	157.12 円	157.17 円

(参考) 被保険者ポートフォリオ 過去5年間の運用実績等の推移

(1) 総合収益の推移

(単位:百万円)

年度	単年度	累計
平成14年度	-563	-563
15	1,852	1,288
16	1,690	2,978
17	6,603	9,580
18	2,923	12,503

(注)平成14年度の計数は、平成14年1月1日から平成15年3月31日までのものです。(以下同じ)

(2) 運用利回りの推移

年度	修正総合利回り	5年移動平均利回り
平成14年度	-4.65%	-
15	5.99%	-
16	3.40%	-
17	9.80%	-
18	3.27%	3.45%

(注)5年移動平均利回りは、当該年度を含む5年間の修正総合利回りを幾何平均したものです。

(3) 年度末時価総額の推移

(単位:百万円)

年度	国内債券		国内株式		外国債券		外国株式		短期資産		合計
	時価総額	構成割合	時価総額	構成割合	時価総額	構成割合	時価総額	構成割合	時価総額	構成割合	
平成14年度	15,485	67.5%	3,169	13.8%	1,225	5.3%	1,639	7.1%	1,434	6.3%	22,948
15	33,240	78.5%	4,166	9.8%	1,935	4.6%	1,555	3.7%	1,438	3.4%	42,335
16	43,270	71.6%	9,081	15.0%	2,192	3.6%	5,765	9.5%	121	0.2%	60,430
17	57,192	69.2%	14,581	17.6%	2,510	3.0%	8,219	9.9%	117	0.1%	82,619
18	72,170	71.9%	15,014	15.0%	3,694	3.7%	9,310	9.3%	157	0.2%	100,345

用語の説明

○ ポートフォリオ

性質が同じ資金をまとめて運用するための運用単位のこと(同義語 ファンド)。

○ 総合収益

利息、配当金や売買損益といった実現損益だけではなく、評価損益や未収収益を加味した収益のこと。

○ 修正総合利回り

総合収益を運用元本に時価の概念を加味した残高で割って算出した収益率のこと。運用成績の開示に広く用いられている。

修正総合利回り = (総合収益) ÷ (運用元本平均残高 + 前期末評価損益 + 前期末未収収益)

○ 平均利回り

一定期間の修正総合利回りを掛け合わせ、累乗根をとる(幾何平均する)ことで年率換算したもの。一定期間を移動していく場合、移動平均利回りとなる。

○ ベンチマーク・インデックス

各資産を代表する銘柄から構成される指標のこと。それぞれの資産を運用する基準として、基金が採用しているものである。

* NOMURA-BPI総合

野村証券金融経済研究所が作成している国内債券市場の指標。国内で発行された残存1年以上の固定利付債から構成される。国内債券市場の代表的な指標である。

* TOPIX(配当込)

東京証券取引所が作成している国内株式市場の指標。東証一部全上場銘柄から構成される。国内株式市場の代表的な指標である。

* Citigroup-WGBI(日本を除く)

シティグループが作成している外国債券市場の指標。主要先進国(除く日本)が発行する国債から構成される。外国債券市場の代表的な指標である。

* MSCI-KOKUSAI(配当込)

モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル社が作成している外国株式市場の指標。主要各国(除く日本)の証券取引所上場銘柄から構成される。外国株式市場の代表的な指標である。